

## 令和3年度「食品ロスやフードドライブに関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

### 1 アンケート結果の事業等への活用状況

横浜市ではこれまでも、スーパーマーケット等の小売店や、区役所、地区センター、収集事務所などの公共施設でのフードドライブの実施について働きかけてきました。また、学園祭や地域イベント、SDGsの取組等を行いたいと考えている企業や団体等が気軽にフードドライブの取組を実施できるよう、コンテナボックスやのぼり旗などの物品の貸出も行っています。

Q14の「どのような場所でフードドライブが実施されていたら、食品を持ち寄りやすいと思いますか。」の質問において、「イ スーパーなどの小売店舗」との回答が65% (954人)、「エ 公共施設 (区役所・地区センターなど) との回答が59.1% (867人) でした。回答結果を参考に、市民・事業者の皆様が様々な場所でフードドライブに参加できるよう今後も取組を進めていきます。

### 2 アンケートを実施した感想

Q1の「あなたは「食品ロス」という言葉を知っていますか。」の質問において、「ア 言葉の意味を知っている」との回答が95.8% (1,406人) であったことや、Q4の「食品ロスの削減について、あなたの関心や取組状況でもっとも近いものをお選びください。」の質問において、「ア 関心があり削減に取り組んでいる」との回答が68.1% (999人) であったことから、市民の皆様が食品ロスに対して関心があることや、削減に向けた取組を実践していることが分かりました。今後は、これまで以上に多くの市民の皆様へ、食品ロスの削減に向けて取り組んでいただけるよう生活の場面に応じた具体的な削減行動の広報啓発を進めていきます。その一方で、Q11の「あなたは「フードドライブ」という取組を知っていますか。」の質問において、「ア 知っている」との回答は28.8% (423人) にとどまっており、フードドライブの認知度向上に向けて取り組んでいく必要があると感じました。

### 3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、「食品ロスやフードドライブに関するアンケート」にご協力いただきありがとうございました。

食品ロス削減はSDGs (持続可能な開発目標) に定められた重要な課題です。また、食品ロスを減らすためには、行政だけでなく、市民、事業者の皆様のご協力が不可欠と考えています。アンケートでいただいたご意見を参考とし、より多くの市民・事業者の皆様が食品ロスについて考え、行動していただけるよう、取組を進めていきます。

担当：資源循環局 3R 推進課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。